

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【公表番号】特表2017-535219(P2017-535219A)

【公表日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-538273(P2017-538273)

【国際特許分類】

H 04 R	1/40	(2006.01)
H 04 R	3/14	(2006.01)
H 04 R	1/24	(2006.01)
H 04 S	7/00	(2006.01)
H 04 R	3/00	(2006.01)

【F I】

H 04 R	1/40	3 1 0
H 04 R	3/14	
H 04 R	1/24	Z
H 04 S	7/00	3 2 0
H 04 R	3/00	3 1 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年5月26日(2020.5.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

さらに、一つのセグメントの音源放射面の外縁と隣接するセグメントの音源放射面の外縁との間の距離が、セグメントが制御している最高周波数の10波長の距離に制限されていることが好ましい。最良の性能は、この距離が、セグメントが制御している最高の周波数の4分の1未満に制限されるときに達成される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

好ましい形態では、オペレータは、無線イーサネットネットワークを介して、ラズベリーパイ或いは同様のコンピュータを制御することができる。このようにしてオペレータは、遠隔操作によって、遠隔作業位置からデータにアクセスし、まず最初に、会場の3Dモデルに基づく最低4つの境界位置を決定することができる。これらの4つの境界位置は、形式的には、通常会場の聴衆位置の後方右隅、会場の聴衆位置の後方左隅、会場の聴衆位置の前方左隅及び会場の聴衆位置の前方右隅である。より複雑な形状又は円形又は曲がったような聴衆位置を有する会場については、4つより多い聴衆境界位置が設定可能であることが認識されよう。